



小学校用『われらクリーン調査隊』授業7  
「世の中にはどんなそうじがあるのだろう」



ガイドー式



# 目 次

【全体の概要】	3
【授業7】	
概要	6
進行ガイド	7

# われらクリーン調査隊

小学校対象 / 生活科・家庭科・総合的な学習の時間 / 1 時間(45 分) × 7 授業  
※各授業は原則 45 分で完結していますが、2 時間連続での実施を推奨している授業もあります

## ●授業の概要

われらクリーン調査隊は、掃除について楽しく学び、学校・家庭生活に活かすダスキンオリジナルカリキュラムです。効果的な掃除の指導法を教えてほしいという先生方の声を受け、現職の先生方の力をお借りして開発いたしました。カリキュラムは、学級活動で取り組めるよう、各授業が 1 時間(45 分)で完結するように作成されています(授業 6・発展授業のみ 2 時間(90 分)をお勧めしています)。

カリキュラムは、

- ☑【基礎・基本編】授業 1～授業 5
- ☑【応用編】授業 6～授業 7
- ☑【発展編】発展授業

の 3 段階 8 授業で構成されています。各授業における対象学年を設定していますが、学校やクラス・児童の状況に応じてアレンジして、実施いただくことも可能です。

また全授業ともに、学校の毎日の掃除時間と連動させることで、学習した内容を継続的に実践・応用されることをお薦めします。

## ●学習指導要領での位置づけ

### 【生活科】

目標 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域のよさに気付き、愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。

内容 公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。

### 【家庭科】

目標 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。

内容 住まい方に関心をもって、整理・整頓(せいとん)や清掃の仕方が分かり工夫できること。

### 【総合的な学習の目標】

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

●授業の構成 ※本授業の背景を色づけしています。

基礎・基本編

授業1 どうしてそうじをするのだろう(45分) 【対象:全学年】

掃除に対して日ごろどのような思いで取り組んでいるかなどを振り返らせ、掃除をしなかったらどうなるかを想像したり、実際に教材を確認したりしながら、掃除の必要性について探っていく。

※低学年向け授業案・教材と、中・高学年向け授業案・教材を用意しています。

授業2 そうじ用具を正しく使おう(45分) 【対象:全学年】

掃除用具の正しい使い方について学習する。ダスキンが提供する映像教材や、実習を通して掃除用具に対する理解を深め、掃除に対する意欲向上にもつなげる。

※ぞうきん・ホウキ(チリトリ)・掃除機・モップについて学習できます。

授業3 学校そうじの正しい手順を知ろう(45分) 【対象:全学年】

掃除の正しい手順について学習する。ダスキンが提供する映像教材や、実習を通して掃除手順に対する理解を深め、これからの掃除に対する意欲向上にもつなげる。

※黒板の拭き方、窓の拭き方、階段の掃き方、廊下の掃き方、トイレ掃除について学習できます。

授業4 身近にあるものを使ってそうじをしよう(45分)【対象:全学年】

学校にはどのような汚れがあるかを確認した上で、汚れに対して効果的な掃除方法、身近なものを掃除用具として活用できることに気づき、実際に効果を感じることで今後の活動への意欲を持たせる。

授業5 よごれにあったそうじの方法を調べよう(45分) 【対象:中・高学年】

実習を通して、汚れにあった掃除方法、用具を正しく選択することの大切さに気づく。また、汚れにあった掃除方法を考え、正しい方法を知ることで、これからの生活に活かしていこうという意欲を持たせる。

授業6 学校そうじの合格基準を作ろう(90分推奨) 【対象:高学年】

学校をいつもきれいにするには、どうすればよいかを考え、誰もが理解できる学校掃除の合格基準を作成する。担当場所の合格の状態をデジタルカメラで撮影し、合格基準を保つためにはどのような掃除をしたらよいか、掃除の手順を見直し、考える。

授業7 世の中にはどんなそうじがあるのだろう(45分) 【対象:中・高学年】

家庭や学校などの身近な掃除から、それ以外の場所の掃除やプロの掃除まで掃除に対する児童の意識を広げる。そして、快適な生活を保つために、地域の人や掃除のプロが、常に努力をしていることに気づかせ、社会での掃除の必要性を理解させる。

応用編

発展編

発展 下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう(90分) 【対象:高学年】

掃除の大切さや掃除用具の正しい使い方、手順をふりかえり、他の学年に伝えることで、掃除に対する理解を深め、毎日の掃除時間への応用につなげる。

※【基礎・基本編】の学習後に実施いただくと効果的です。

※きょうだい学級など、高学年が低学年の掃除を手伝うときにご活用いただけます。

●授業のねらい

学習項目	知識・理解	関心・意欲・態度	思考・判断・ 創意工夫	技能・表現
授業1 どうしてそうじをするのだろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 掃除の大切さ、必要性がわかる</li> <li>➤ 生活していると自然に出る汚れと人間が出す汚れに気づく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 掃除に関心を持ち、汚れや掃除をすることに興味を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 掃除をしなければどうなるのかを考える</li> </ul>	
授業2 そうじ用具を正しく使おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 効果的な掃除用具の使い方がわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 学習したことを、掃除の時間に应用したいという意欲を持つ</li> <li>➤ 学習したことを家庭での手伝いとして実施してみようという意欲を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 掃除用具の効果的な使い方と、効果的な理由を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 効果的な掃除用具の使い方を習得し、掃除時間などで実践できる</li> </ul>
授業3 学校そうじの正しい手順を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 効果的な掃除の手順がわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 学習したことを、掃除の時間に应用したいという意欲を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 効果的な掃除手順と効果的な理由を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 効果的な掃除の手順を習得し、掃除時間などで実践できる</li> </ul>
授業4 身近にあるものを使ってそうじをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 身近なものを工夫することで、効果的な掃除用具になることがわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 掃除に関心を持ち、積極的に掃除に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ どのようなものが掃除用具になるか考える</li> <li>➤ 身近なものが掃除用具として、どのように活用できるかを考える</li> </ul>	
授業5 よごれに合ったそうじの方法を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 汚れの種類によって掃除の仕方や掃除用具を工夫することがわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 掃除に関心を持ち、積極的に掃除に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 汚れに合った掃除の仕方はどのようなものか考える</li> <li>➤ 汚れに合った掃除用具や掃除方法はどのようなものか考える</li> </ul>	
授業6 学校そうじの合格基準を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 合格基準とは何かがわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ みんなが快適に過ごせる環境づくりに関心を持つ</li> <li>➤ 合格基準をつくってみようという意欲を持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ みんなが快適に過ごせる、きれいな学校にするにはどうしたらいいかを考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 見る人を意識した撮影ができる</li> <li>➤ 気づいたことをワークシートにまとめられる</li> </ul>
授業7 世の中にはどんなそうじがあるのだろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ なぜ掃除のプロが求められているのかがわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 快適に生活するために、今後の掃除に対しても、意欲的な姿勢を示す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 掃除のプロの話を知った上で、掃除にはどのような意義があるか考える</li> </ul>	
発展 下級生にそうじの大切さや方法を伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 要点をまとめて整理する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 他の学年に掃除の大切さや必要性を伝えようという意欲を持つ</li> <li>➤ グループで協力して活動しようとする態度を示す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 相手にわかりやすく伝えるためには、どのようなことに気をつけなければならないかを考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 相手にわかりやすく伝えることを意識して伝える</li> </ul>

# 授業7 世の中にはどんなそうじがあるのだろう

【対象：中・高学年】

家庭や学校などの身近な掃除から、それ以外の場所の掃除やプロの掃除まで、掃除に対する児童の意識を広げます。そして、快適な生活を保つために、地域の人や掃除のプロが常に努力をしていることに気づかせ、社会での掃除の必要性を理解させます。

## 進行概要

	min	概要
導入	5	毎日学校で行っている掃除以外に、掃除はどこで行われているかを考え、世の中のいろいろな掃除について考えることを伝える
展開 ①	15	身の回りの掃除から視点を広げ、世の中に求められる掃除に気づく <ul style="list-style-type: none"> <li>・家や学校以外の自分の身の回りの掃除、地域の掃除に気づく</li> <li>・世の中で求められる掃除に気づく</li> </ul>
〃 ②	20	プロの掃除とプロの意識を知る <ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除のプロの存在に気づき、掃除は世の中に求められ、重要な役割を担っていることを理解する</li> <li>・掃除のプロの具体的な取り組みと意識について理解する</li> </ul>
まとめ	5	本日の振り返り

※45分で設定していますが、アレンジにより20分程度での実施も可能です。

## 使用教材

	タイトル	仕様	画面	概要	使用
①	スライド教材 (世の中にはどんな そうじがあるだろう)	Microsoft® PowerPoint®	10画面	家や学校以外の場所にも掃除をする人がいること、掃除を職業とするプロもいることを知り、快適な生活を保つためには掃除がなくてはならないものであることに気づく教材	教師

## 準備物


- 機材：
- ・PC(スライド教材の準備)
  - ・スクリーン
  - ・プロジェクター

「世の中にはどんなそうじがあるのだろう」 授業進行ガイド

	進行用スライド		流れ
<p>導入 5分</p>	 	<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●授業の見通しを持つ</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家と学校以外で、掃除が必要な場所にはどんなところがありますか？</li> <li>今から世の中のいろいろな掃除について考えていきます。</li> </ul>
<p>展開① 15分</p>	   	<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p>●家や学校以外の自分の身の回りの掃除、地域の掃除に気づく</p> <p>●世の中で求められる掃除に気づく</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家から学校までの道のりで掃除が必要だと思う場所がありますか？</li> <li>誰がどのように掃除しているのでしょうか？</li> </ul> <p>※このスライドで使用している写真は、学校付近の写真に差し替えて使用していただくと更に効果的です</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>例えば、道路を掃除している人を見たことがありますか？</li> <li>道路にはどんな汚れがあるのでしょうか？(タバコ、空き缶、落ち葉、ガム、その他いろいろ)</li> <li>どうして掃除をする必要があるのでしょうか？</li> <li>誰が掃除をしているのでしょうか？</li> </ul> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミがたまると気持ち悪いし、落ち葉がたまると、滑りやすくなって危険です。</li> <li>地域の人が協同で掃除をしたり、市町村の清掃員が掃除したりしてくれているのですね。</li> </ul> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>では、新幹線にはどんな掃除があるでしょう？(車内、座席、トイレ、窓など)</li> </ul> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車内の掃除をしているところを見たことがある人はいますか？</li> <li>新幹線の掃除では、列車が駅に着いてから発車するまでの限られた時間で、全部の車両を隅々までチェックして処理を行い、シートカバーを整えてシートの向きを変えなければならないのです。これはまさに時間との戦いですね。</li> </ul> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お掃除をもっと世の中の大きな範囲で考えてみましょう。ここに、ナゴヤドームの写真があります。ナゴヤドームの中にはどんな掃除の場所があるでしょう？</li> </ul> <p>※スライドアニメーション・・・「コンコース(廊下)」「トイレ」「観客席」「売店」「レストラン」「ドーム前の道」が一括で出てくる</p> <p>【説明】ナゴヤドームひとつを見ても、こんなにも多くの場所の掃除が必要なのですね。</p> <p>【発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フロアやスタジアムには、いったいどんな汚れがあるでしょう？</li> <li>(紙くず、お菓子の袋、ジュースの空き缶、ペットボトル、メガホン、紙吹雪、など)</li> <li>イベントが終って、客席やトイレを掃除しなかったらどうなるでしょう？もし掃除していない客席に自分が座ったらどう思いますか？グラウンドの芝生を掃除しなかったらどうなりますか？</li> <li>(気持ち悪い、嫌な感じ、汚い、危険など)</li> </ul> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>掃除をしなかったら、食べ物のカスが腐ったり、こぼれた飲み物がべたついたり臭かったり、気持ち悪く感じたり、時には危険だったりして、みんなが楽しく気持ちよく過ごしていけないですね。</li> </ul>

<p>展開② 20分</p>	<p><b>プロがおそうじをしています</b></p>  <p>コンコースのそうじ きつせんルームのそうじ</p> <p><b>他にプロしかできないそうじがあるかな？</b></p>  <p>飛行機のそうじ ビルのそうじ</p>	<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p><b>●掃除のプロの存在に気づき、掃除は世の中に求められ、重要な役割を担っていることを理解する</b></p> <p><b>【発問】</b> ・ナゴヤドームの掃除はお掃除の会社のスタッフ(プロ)がしています。では、どうしてプロに掃除を頼むのか考えてみましょう。</p> <p><b>【発問】</b> ・ナゴヤドームは約 4 万人も入ります。こんなにたくさんの方が入る広い場所の掃除を何人くらいで掃除していると思いますか？ドーム内にトイレはなんと男女あわせて約50箇所もあるので。</p> <p><b>【発問】</b> ・どのくらいの時間で掃除をしていますか？どんな掃除用具を使っていると思いますか？</p> <p><b>【説明】</b> ※参考 1)、2)、3)を参照</p> <p><b>【説明】</b> ・なぜプロに頼んでいるかわかりましたか？ 特別な方法や道具が必要で、限られた時間で完璧に掃除しなくてはならないイベント会場や新幹線の車内などは、とても一般の人では掃除できませんね。</p> <p><b>【発問】</b> ・プロの掃除には、他にどんな掃除があるでしょう？ (飛行機、ビルの窓ガラス、トンネルや下水管の掃除など)</p> <p><b>【説明】</b> ・飛行機は新幹線と同じように客席など機内の掃除もありますが、実は「すす」を払うのが大切だそうです。「すす」を払っておかなければ、次に飛ぶときに飛行機が「すす」の分だけ重くなって、燃料がたくさん必要になったりして、危険なのだそうです。 ・ビルの窓ガラスの清掃も、あんなに風が強く吹く高いところで、足場がグラグラしながら、窓をきれいにできるのは、掃除の専門的な技術や知識を持っている人でないといけないですね。 ・やはり世の中には掃除のプロが必要なのですね。</p> <p><b>【参考】</b> 1)ナゴヤドームの掃除の人数 ナゴヤドームイベント後のコンコース(廊下)の掃除は、約 100 人で 4 時間かけています。 2)コンコース(廊下)の掃除 2階のコンコース(廊下)は、1 周すると約 6 分かかるそうです。ゴミ箱の数はなんと 150 個もあります。床をキレイに掃除するために大きなモップや自動洗浄機を使っています。 3)イベント日の掃除 イベント中の巡回清掃は、25 人で行っています。野球公式戦でのゴミの量は、1 試合で 5 トン～6 トンです。もちろん、ゴミ回収時に可燃ゴミ、ビン、カン、ペットボトルなどの分別も行っています。</p>
	<p><b>100-1=0</b></p>  <p>①身だしなみ ②言葉遣い ③挨拶も大切にしたい ④掃除も大切にしたい</p>	<p>ねらい</p> <p>進行・教師の投げかけ</p>	<p><b>●掃除のプロの具体的な取り組みと意識について理解する</b></p> <p><b>【説明】</b> ・先生は、掃除の会社 ダスキンの人に、お掃除の内容やどんな意識で取り組まれているかを聞いてきました。 ※家庭向けに、家では手に負えないエアコンやお風呂などの掃除を、企業向けには、会社のカーペットやデパートのシャンデリアなどを掃除していることを簡単に紹介する</p> <p><b>【発問】</b> ・ダスキンでは、 100-1=0という考え方を大切にしていると聞きました。これはどういう意味だと思いますか？</p> <p><b>【説明】</b> ・ダスキンの掃除のプロは、身だしなみ、言葉遣い、気持ちのよい態度、確かな技術・知識のすべての要素がそろって、100 点だそうです。どれか1つでも欠けていたらお客様にとって不満を残すことになるので 0 点と考えなさいという意味です。掃除のプロとして一番大切なことは「お客様のことを考えて心をこめて掃除を行うこと」だと考えているそうです。</p>



ま と め  5 分		ね ら い   進 行 ・ 教 師 の 投 げ か け	●授業で学んだことを振り返る
			【説明】 ・プロはたくさんの人が使う場所だからこそ、その場所を使う人たちが快適に使えるようにと考えて掃除をしていること、またそれらの掃除は本当に必要なことが分かりましたね。街や道路などいろいろな場所で、誰かが掃除をしてくれていることに、あらためて気づきました。 ・世の中には、プロでなくてはできない大事な掃除がたくさんあることがわかりましたね。今まで、掃除はめんどろだな、嫌だな、と思っていた人もいるかもしれませんが、世の中に掃除がなくなったら・・・家や学校で、誰も掃除をしなかったら・・・どうでしょう？ みなさんは、学校掃除のプロを目指して、これからも掃除してくださいね。